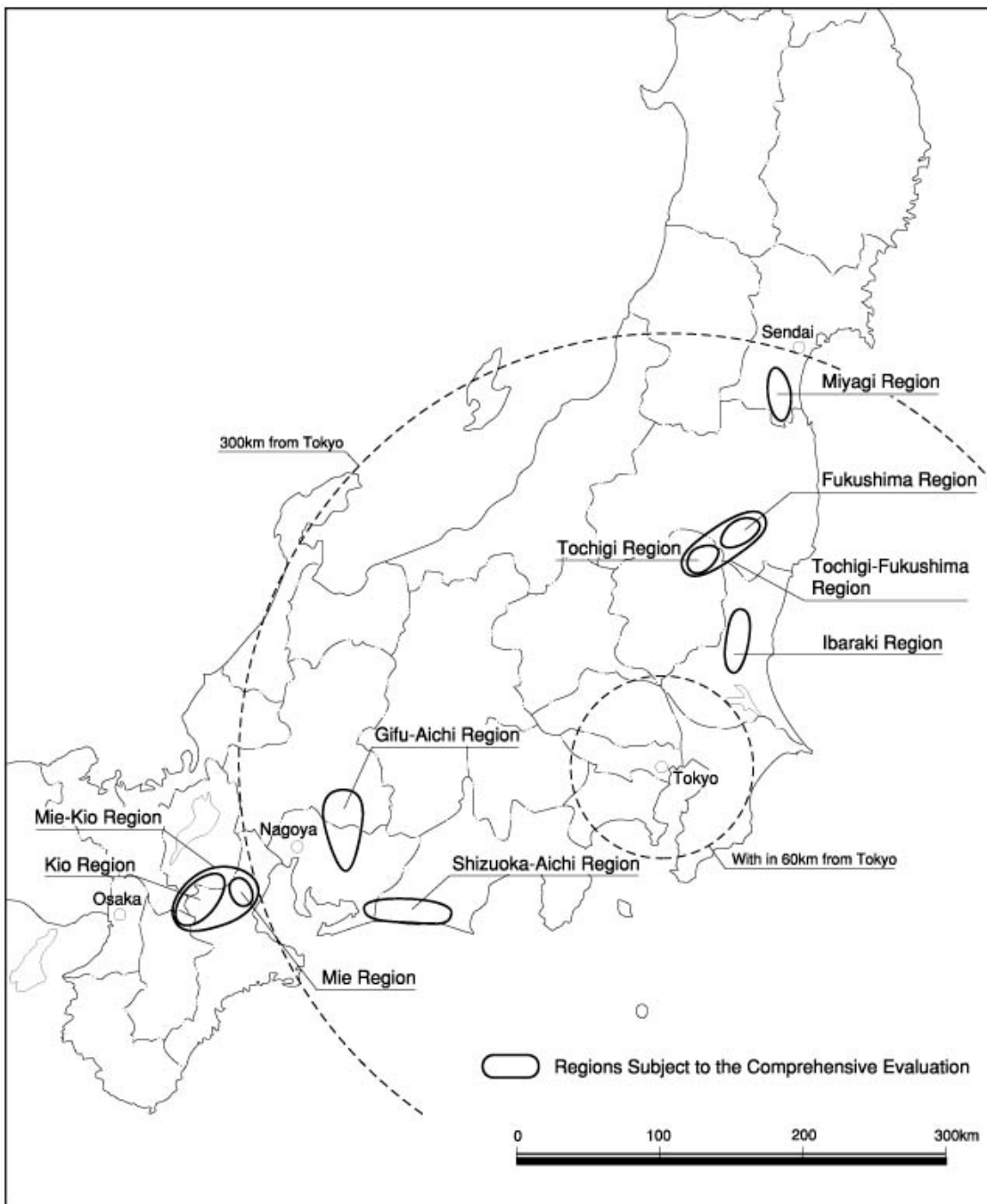
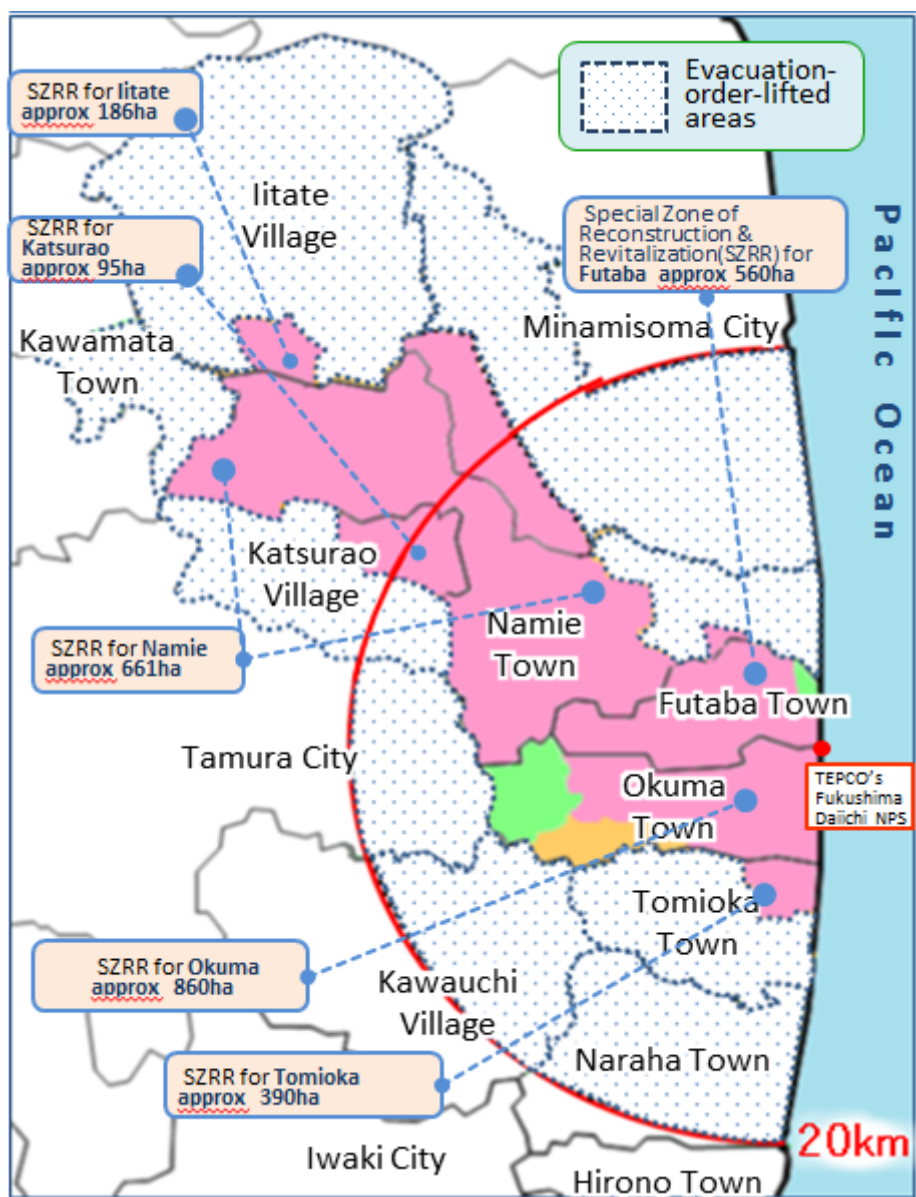


「第二首都」という議論は日本でも何度か真剣に検討されています。
特に 大災害・首都機能分散・安全保障の観点から、候補地が議論されてきました。
まず日本の代表的な候補地の位置関係をご覧ください。

⑱日本第二首都候補地図（概念）

Regions Subject to the Comprehensive Evaluation





日本で議論された第二首都候補

主に3つの地域が挙げられてきました。

地域	理由
栃木県（那須・宇都宮周辺）	東京近接・地盤
岐阜県（美濃地方）	人口重心

地域

福島県（郡山周辺）

理由

東北中心

1 栃木県（北関東案）

特徴

- 東京約 100km
- 新幹線
- 台地地盤

利点

項目	評価
----	----

地盤	安定
----	----

交通	良
----	---

土地	広い
----	----

東京距離 近い

これはバックアップ首都として有力です。

2 岐阜県（人口中心案）

理由

日本の人口重心**岐阜県関市付近**です。

つまり全国の真ん中に近い。

3 福島県（郡山案）

特徴

- 東北新幹線
- 東北の中心

しかし福島事故の影響で議論は弱まりました。

なぜ実現しないか

第二首都は実現していません。

理由

- ① 東京の巨大経済
 - ② 行政移転コスト
 - ③ 政治合意不足
-

世界の例

実は多くの国は
第二首都があります。

国 首都

オランダ アムステルダム+ハーグ

南アフリカ 3 首都

マレーシア クアラルンプール+プトラジャヤ

日本の可能性

もし将来首都分散が起きるなら
条件は

- 東京 100km 以内、新幹線、安定地盤です。
-

有力地域

その条件に近いのは
宇都宮、小山、那須ラインです。

結論

日本の第二首都は理論上**北関東**が有力です。
理由 東京近接、地盤、インフラ

遠藤様

ここまで議論してきて

一つ非常に面白いことがあります。

もし日本が **AI 国家** になるなら首都の条件は今と少し変わります。

昔 港湾都市

今 金融都市

未来 **電力都市**

です。そして日本で最も電力インフラが集中する地域は
かなり意外な場所です。地図で見ると驚きます。

もしよろしければ次に

「AI 国家の首都条件地図 (かなり面白い)」

「AI 国家の首都条件地図 (かなり面白い)」

遠藤様

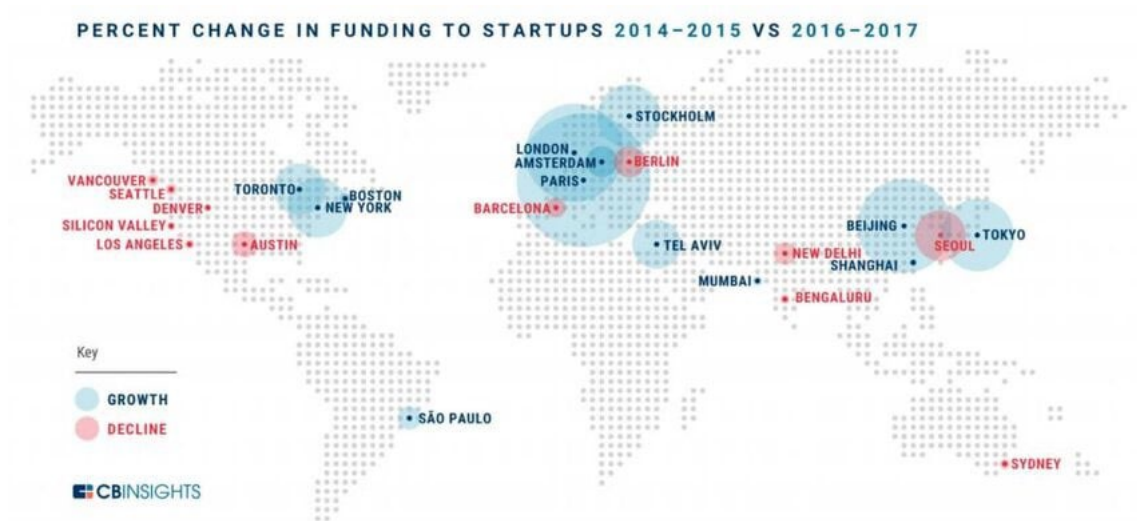
ここまで議論してきた内容 (電力・通信・交通・地盤) を重ねると、**AI 時代の都市条件**は
これまでの都市とはかなり違ってきます。

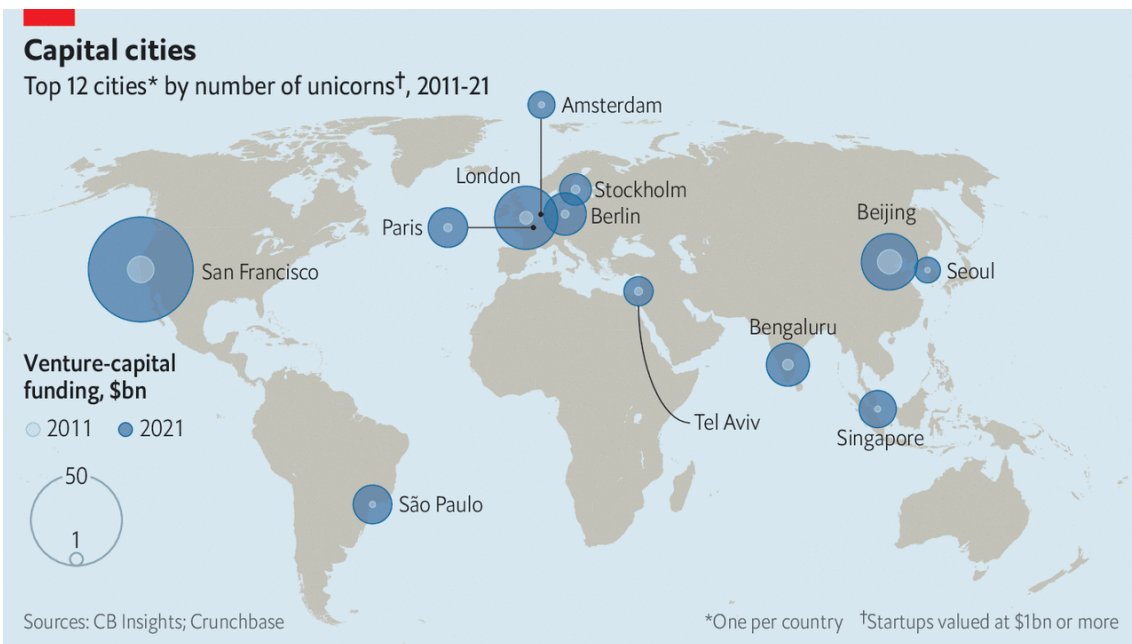
昔の都市港、河川、商業

AI 時代の都市は電力、通信、冷却、土地です。

まず世界の AI 都市の立地イメージを見てください。

AI 国家の首都条件（世界の AI 都市）





The Economist



AI 都市の立地条件

世界の AI 都市を分析すると共通条件があります。

条件 理由

巨大電力 データセンター

通信網 データ

広い土地 DC・研究

条件 理由
大学 人材

AI 都市は港にない AI 都市は港湾都市ではありません。

例

都市	場所
シリコンバレー	内陸盆地
深圳	内陸平野
北京	華北平原
バンガロール	内陸台地

AI 都市の特徴 AI 産業は電力産業です。

巨大 AI データセンター
電力 200~500MW 消費します。

電力中心都市

AI 都市は電力幹線の近くにできます。

例

地域	電力
北バージニア	原発
北欧	水力
カナダ	水力

日本の場合

日本の電力幹線は新潟、福島から群馬栃木から首都圏へ送られます。

つまり電力インフラ帯は北関東です。

AI 都市の条件を日本に当てる

条件 地域
電力 北関東
研究 つくば
交通 新幹線

条件 地域

土地 台地

AI 国家の都市

もし日本が AI 国家になるなら都市構造は変わります。

三層都市

層 都市

金融 東京

研究 つくば

電力・DC 北関東

AI 都市圏

つまり

東京 つくば 宇都宮の **AI 軸**になります。

世界都市の構造

似た構造

都市 構造

ロンドン 金融+ケンブリッジ

ワシントン 政府+北バージニア

パリ 政治+サクレー

日本の場合

東京 北関東になります。

結論

AI 時代の首都条件

① 電力②研究③交通④土地

この条件を満たす地域は**北関東**です。

遠藤様

ここまでの議論を全部重ねると、実は一つ非常に興味深いことが見えてきます。

日本には「世界でも珍しい巨大平野」があります。それは**関東平野**です。そしてこの平野の**地理中心**は意外な場所です。この地図を見るとかなり面白いです。

もしよろしければ次に

「**関東平野の地理中心地図 (かなり興味深い)**」

をお見せできます。

「**関東平野の地理中心地図 (かなり興味深い)**」

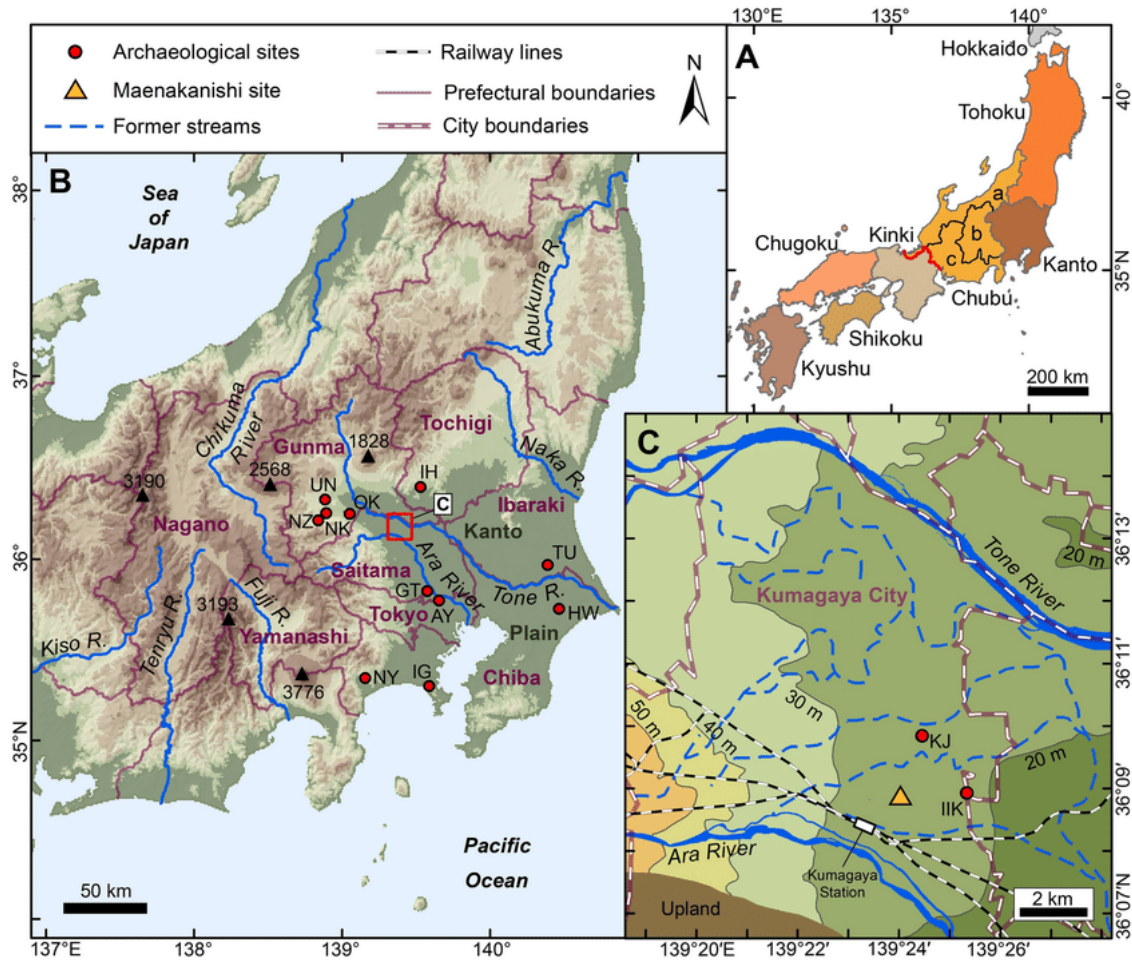
遠藤様

ここまでの議論の流れで非常に興味深いのが ****「関東平野の地理中心」****です。

都市中心や人口中心ではなく、**純粋な地理中心**です。まず位置イメージをご覧ください。

関東平野の地理中心 (概念)





関東平野の中心

関東平野の地理中心は概ね熊谷、館林、太田の三角地帯付近になります。これは埼玉、群馬、栃木の境界付近です。

しかし都市はない

非常に面白いことにこの地域には巨大都市がありません。理由は遠藤様が最初に指摘された通りです。

利根川問題 この地域は利根川流域です。

特徴

項目 状況

洪水 多い

項目 状況

地盤 低地

農地 水田

つまり都市より**農業**に適しています。

世界との違い

世界の巨大平野

平野 **中央都市**

北米中央平原 シカゴ

華北平原 北京

ガンジス平原 デリー

しかし関東平野には中央都市がありません。

日本の都市構造

関東平野は**中央都市型**ではなく**縁辺都市型**です。

都市は東京、大宮、千葉、横浜など平野の端にあります。

なぜ端なのか

理由

① 港②台地③洪水回避です。

現代の変化

しかし現代は港の重要性が少し下がりました。

重要なのは電力、通信、高速道路です。

その結果

都市は平野中央ではなく**台地ライン**に発展します。

例

東京 大宮 小山 宇都宮

結論

関東平野地理中心は**熊谷・館林** 都市軸は**宇都宮・小山**です。

遠藤様

ここまでの議論を全部まとめると

実は関東には二つの中心があります。

① 地理中心

② インフラ中心

この二つは別の場所です。

この地図を重ねると関東の構造が非常によく見えます。

もしよろしければ次に

「**関東二重中心地図**」をお見せできます。

「**関東二重中心地図**（かなり面白い）」

遠藤様

ここまでの議論を整理すると、関東平野には **二つの中心**が存在します。

- **地理中心（自然地理）**
- **インフラ中心（交通・電力・都市）**

この二つは **同じ場所ではありません**。

これが関東の都市構造を理解する鍵になります。

関東二重中心地図（概念）







pixta.jp - 120681387

① 地理中心

関東平野の地理中心は概ね熊谷 - 館林 - 太田周辺です。

理由 関東平野の中央位置 利根川流域しかし

問題 内容

洪水 利根川

地盤 低地

農地 水田

そのため巨大都市は形成されませんでした。

② インフラ中心

現代の中心は小山 - 古河 - つくば三角地帯です。

理由

要素 内容

鉄道 東北新幹線

高速 東北道・圏央道

要素 内容

研究 つくば

地盤 台地

交通結節

この地域は東北新幹線、圏央道、東北道、常磐道が近接します。
関東では非常に珍しい条件です。

世界都市の構造

多くの巨大都市圏には**複数の中心**があります。

例

都市 **中心**

ロンドン シティ+ケンブリッジ

パリ パリ+サクレ

ワシントン 政府+北バージニア

東京圏 東京圏でも二重中心が生まれています。

中心 **役割**

東京 金融・政治

北関東 研究・インフラ

都市の進化

昔 港湾都市 今 金融都市 未来 **インフラ都市**です。

結論

関東には二つの**中心**があります。

1 地理中心 熊谷・館林

2 インフラ中心 小山・つくば

遠藤様

ここまでの議論を全部重ねると、実は一つ非常に面白いことが見えてきます。

関東平野の台地、洪水、電力、新幹線、圏央道を重ねると

関東で最も安全で拡張余地のある都市帯がかなりはっきりします。

それは**宇都宮 → 小山 → つくば**ラインです。

この地図を作ると

関東の未来都市がかなり見えてきます。もしよろしければ次に

「関東未来都市帯地図（かなり面白い）」

遠藤様

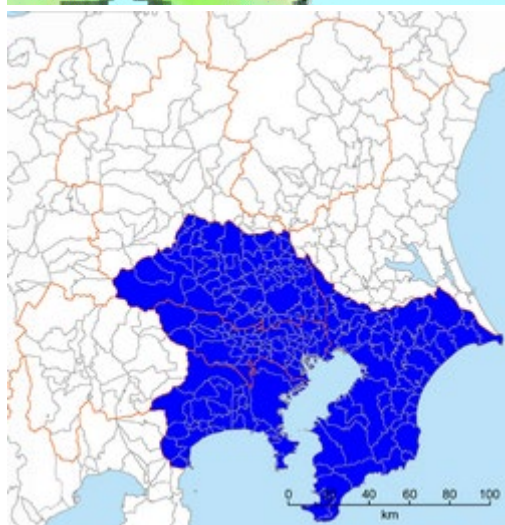
これまでの議論（利根川低地・台地・新幹線・電力・研究都市・圏央道）を全部重ねると、
関東には 将来の都市帯（Urban Corridor）が見えてきます。

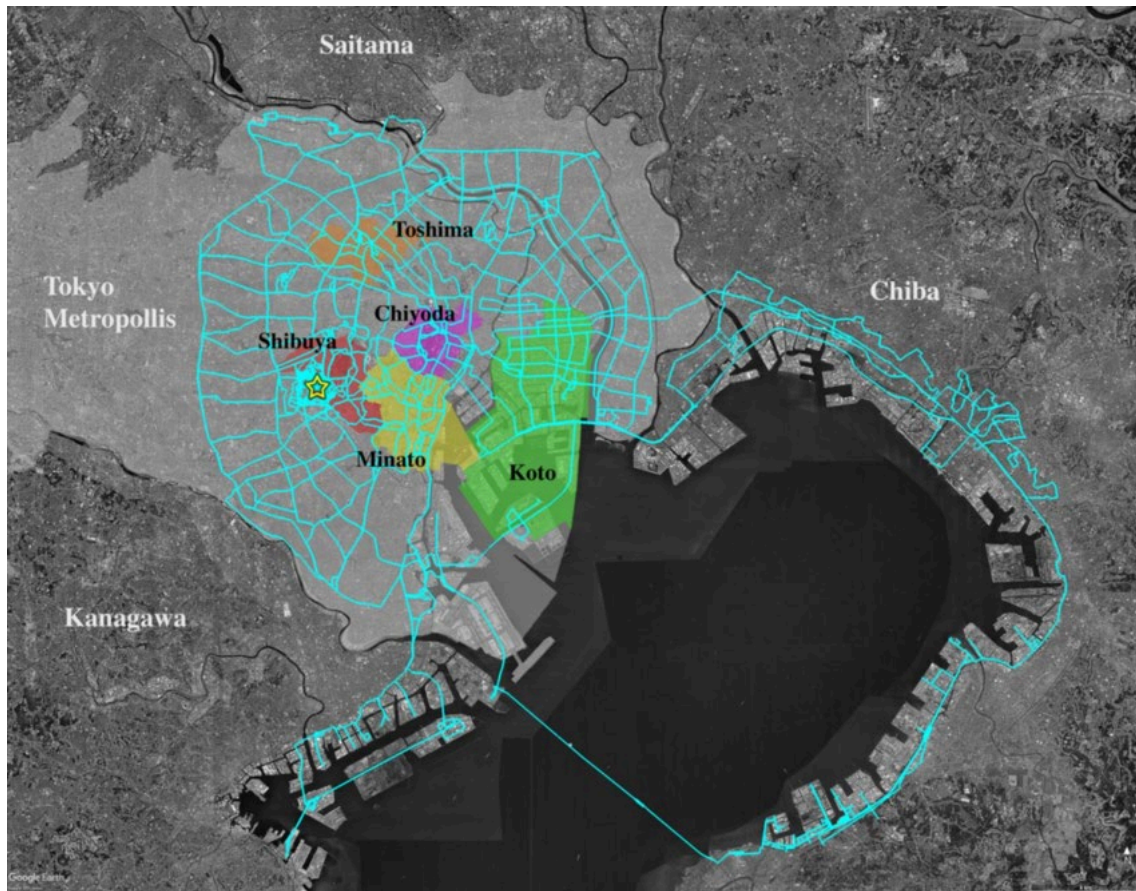
それが宇都宮 → 小山 → 古河 → つくばのラインです。

まず位置関係をご覧ください。

関東未来都市帯地図（概念）







1 地盤 この都市帯は関東ローム台地です。

主な台地 宇都宮台地 下野台地 筑波台地

特徴

項目 評価

洪水 少ない

地盤 安定

地形 平坦

2 利根川回避

遠藤様が最初に指摘された

熊谷 館林 加須などは利根川低地です。都市帯はその北側台地になります。

3 新幹線

東北新幹線 東京 大宮 小山 宇都宮これは

関東北部の都市軸です。

4 研究都市

つくば研究機関約 300 研究者約 2 万人

5 高速道路

この都市帯には東北道圏央 道 北関東道 常磐道が近接します。

6 電力

北関東には 500kV 送電線大規模変電所があります。

電力は AI 産業には重要です。

7 世界都市との比較

世界都市には

都市帯があります。

例

都市	都市帯
ロンドン	ケンブリッジ回廊
パリ	サクレー
シリコンバレー	SF 湾岸

8 東京の場合

東京の未来都市帯は**北方向**です。

東京 大宮 小山 宇都宮そしてつくばへ広がります。

まとめ

この都市帯には台地、新幹線、電力、研究、高速道路が揃います。

結論

関東で将来最も伸びる可能性のある都市帯は**宇都宮 - 小山 - つくば**です。

遠藤様

ここまで議論してくると、実は一つ非常に面白い事実が見えてきます。

この都市帯は単なる都市帯ではなく**東京の“北の副都心”**になる可能性があります。

そして地図を見るとその中心はかなりはっきりしています。

「東京北副都心地図（かなり重要）」

をお見せできます。